

事 務 連 絡
平成21年10月20日

各都道府県消防防災主管
救急事務担当者 各位

消防庁救急企画室

救急資器材(ストレッチャー)についての注意喚起について(情報提供)

平素から救急行政にご協力いただき、ありがとうございます。

標記の件につきまして、救急自動車に車載されているストレッチャー(米国製ファーノ・ワシントン社製「ストレッチャーモデル9304」)の前輪キャスター部のボルトが破断してキャスターの脱落が発生した事例について、別添のとおりファーノ・ジャッパン・インクから情報提供がありました。

つきましては、貴都道府県内市町村(消防の事務を処理する組合・連合を含む。)に対し、周知されますようお願い致します。

問い合わせ
消防庁救急企画室 梅澤・庄司
電話 03-5253-7529
FAX 03-5253-7539

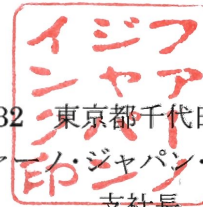


平成21年10月15日

総務省消防庁 救急企画室長 殿

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-9-8

ファーン・ジャパン・インク 日本支社
支社長 青木 英生



ストレッチャーモデル9304の前輪キャスター部ボルト破断についてご報告とお願い

拝啓 秋冷の候、貴省ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、救急車搭載用ストレッチャー「スカッドメイト モデル9304」（以下、スカッドメイトという）の前輪（傷病者の頭側）のキャスターをコーナーシャンクに取り付けている平皿ボルト（以下、ボルトという）に緩みが発生し、その後ボルトが破断してキャスターの脱落が発生したという事例の報告がございました。（別紙1参照）

ボルトの緩み及び破断の原因は、前輪キャスターの方向固定を行わないで、救急車への搬入や折り畳んだ状態にする時のシャンクピンやコーナーシャンク及びボルトへの負荷、救急車のステップにキャスターが直接当たる時の繰り返しの強い衝撃によるものと推測致しました。

このような事例を受け、今後の再発防止のため、大変ご不便・お手数をおかけしますが、現在お使い頂いているスカッドメイト（旧型モデル95を含む）の前輪及び後輪キャスターを取り付けているボルトに緩みがないかを点検して頂きたくお願い申し上げます。緩みがあった場合は5/32インチの六角レンチを使用して増し締めをして頂くようお願い致します。（別紙2. 1参照） また、ボルトの点検を目視で行い、早期に緩みを発見するために「合いマーク」（平成21年度車からは弊社出荷前に記載）を描き入れることをお勧め致します。（別紙2. 2参照）

スカッドメイトの使用においては、搬入や折り畳んだ状態にする時の前輪キャスターの方向固定は必須であることが取扱説明書に記載されておりますので再度ご確認願います。（別紙3. 参照） 万一、方向固定を行わないで搬入や折り畳んだ状態にしますとキャスターの脱落が発生する前にシャンクピンの曲がりやホイールへのダメージが発生し、損耗を早める原因となりますのでご注意願います。（別紙4. 参照）

今回の件につきまして関係者の方々にはご不便・お手数をお掛けしますことを深くお詫び申し上げます。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

尚、この件につきましてご不明な点等ございましたら下記問い合わせ先までお問い合わせ願います。

敬具

【問い合わせ先】

ファーン・ジャパン・インク 日本支社 営業部 電話：03-5820-4649

日本船舶薬品株式会社 救急医療機器部 電話：045-622-1313

*土日祝祭日を除く 午前9時から午後5時30分まで

脱落した右側キャスター



2.1 ボルト緩みの点検



緩みの点検は、L字型六角レンチ(5 / 32
インチ)の長い側六角穴に差し込んで行
います。
レンチは時計回り(締める方向)に回しま
す。



緩みがあれば、六角レンチの短い側を六
角穴に差し込んで増し締めを行ってくだ
さい。

2.2 合いマークについて



ボルトに緩みがないことを確
認した後に、定規を当てて
合いマークを油性マジック
で十字型に描きます。



合いマークを描き終えた状
態。この画像は前輪(傷病者
の頭側)ですが、後輪にも行っ
てください。



ボルトが緩むと十字にズレが
発生しますので、緩みを目視
で早期に発見することが出来
ます。

別紙 3

お手持ちの取扱説明書の丸印の日付をご確認下さい。
以下は最新の取扱説明書の表紙となります。

MODEL
#9304

取扱説明書 スカッドメイト

FORM SM-002
DATE 1/JUL/09
SQUAD MATE



※写真はマットレス、傷病者固定ベルト（別売）付

この度はファーノ・ワシントン社製スカッドメイト モデル9304をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございました。本器をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読み下さいますようお願い致します。

お願い

1. この取扱説明書は大切に保管して必要な時にはご再読下さい。
2. ご使用になる方全員に適切な講習を行って下さい。
3. 右欄は必要事項の記録用にお使い下さい。
4. 日常の点検は確実に行って下さい。
5. 使用方法に関してお分かりにならない点がありましたら販売店、または弊社までお問い合わせ下さい。

製造番号

購入日

販売店

その他

 **FERNO**[®]
Japan

ファーノ・ジャパン・インク 日本支社

日本支社：〒101 東京都千代田区岩本町1-9-8 第3FKビル3F
-0032 Tel：03-5820-4649(代) Fax：03-5820-4669
商品・技術：〒192 東京都八王子市下柚木528-1
センター -0372 Tel：0426-77-6656(代) Fax：0426-77-6603

3.1 1996年(平成8年)9月1日～2004年(平成16年)9月30日まで

取扱説明書本文4ページ

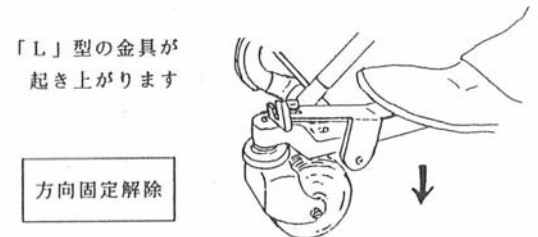
(6) 前輪の方向固定

前輪には方向固定機構が付いています。搬入、搬出時には、必ず方向固定を行って下さい。それ以外の場合にも、方向固定をしておく、えい行が楽な場合があります。
 方向固定する時は、キャスターを直進位置に合わせて、先端にある「L」型の金具をつま先で操作側へ倒します。
 解除する時は、ロックペダルの図の位置を踏んで下さい。先端の「L」型の金具が起き上がりロックピンが抜け、方向固定が解除されます。



！ 注 意 ！

特に搬入時は、車のバンパーに近づく前に、方向固定を行う必要があります。キャスターが斜めの状態では方向固定ができませんので、車の約1m後方まで近づいたら、方向固定を行い、車に対してストレッチャー及びキャスターが垂直に当たるようにして下さい。また、方向固定が確実にされているかどうか確認して下さい。

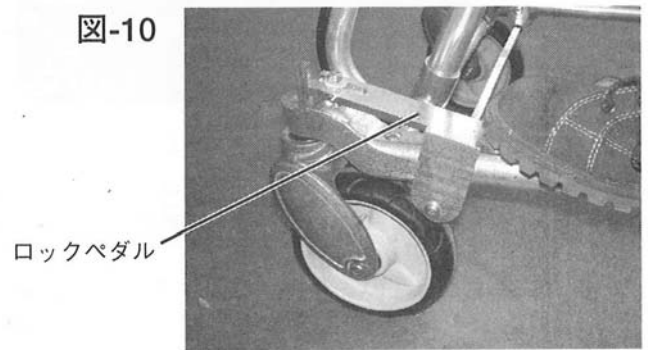
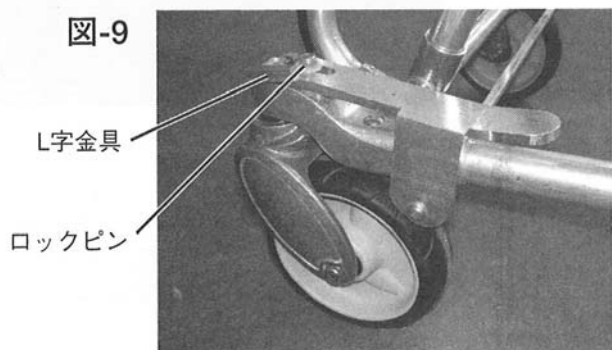


3.2 2004年(平成16年)10月1日～2009年(平成21年)6月31日まで

取扱説明書本文6ページ

7. 前輪キャスターの方向固定

前輪キャスターには方向固定システムが装備されています。搬入／搬出等行う際には必ず方向固定を行って下さい。それ以外の場合でも、方向固定を行っておくと曳航が容易に行えます。方向固定する際は、キャスターを直進方向に合わせて先端にある「L」型金具をつま先で操作側へ倒します。解除する際は図のようにロックペダルを踏み、先端の「L」型金具を起こすと、連結しているロックピンが抜け、方向固定が解除されます。(図9、10参照)



⚠ 注意

特に搬入の際には救急車のバンパーに接近する前に方向固定を行う必要があります。キャスターが斜めの状態では方向固定が出来ません。搬入の操作を行う前に方向固定が行われているか必ず確認して下さい。車両のステップ、またはバンパーに対して本器、及びキャスターが直角に当たるようにして下さい。

3.3 2009年(平成21年)7月1日～現在まで

取扱説明書本文10～11ページ

2-8 前輪キャスターの方向固定方法

本器にはローディングホイール側前輪キャスターに方向固定機構が装備されています。

- ① 方向固定を解除する際は、ロックペダルを踏んでL字金具を起こすと、連結されているロックピンが前輪キャスターから抜けて方向固定が解除されます(図2.3参照)
- ② 方向固定を行う際は、ロックペダルをオペレーター側に倒すと、連結されているロックピンが下がります。(この状態ではまだ方向固定は完了していません)(図2.4参照)
- ③ 左右のキャスターを図のように進行方向に合わせて、ロックピンがキャスターのロック穴にしっかりと入り、ロックされた事を確認して下さい。(図2.5参照)

重要

方向固定が確実に行われない状態で搬入や、1人で折り畳んだ状態にすると故障の原因となります。必ず方向固定されている事を確認してから行って下さい。(図2.6参照)

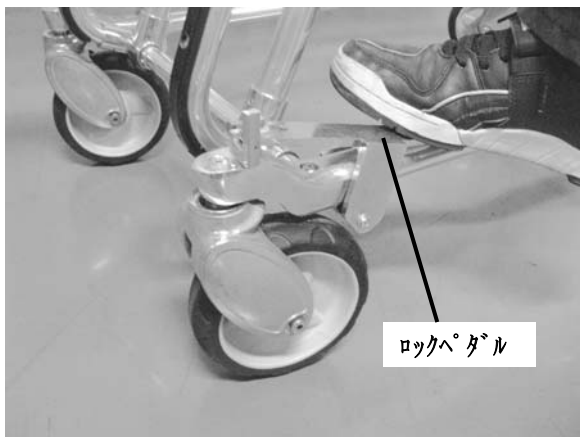


図 2.3

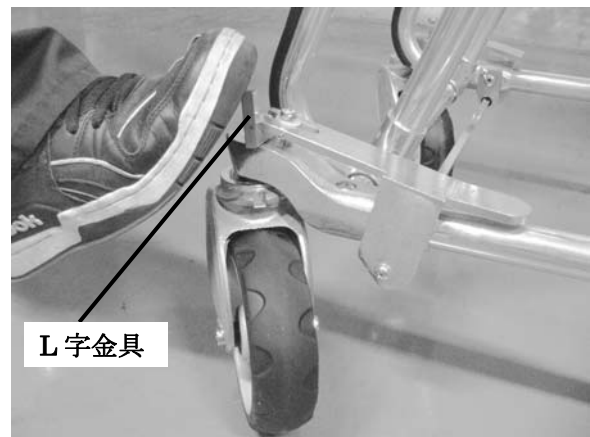


図 2.4



図 2.5

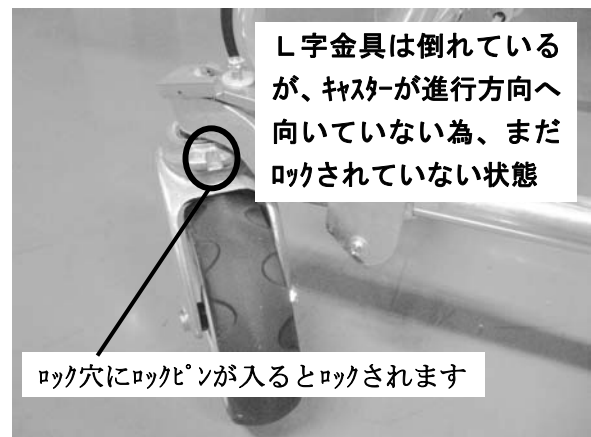


図 2.6

別紙 4

方向固定をしないで、搬入や折り畳みを行っている状況と結果



スカフストリップがホイールを圧迫している状態



ホイールの剥離が発生している



Tキャストがホイールを圧迫している状態



ホイールの削れと剥離が発生している